



TITLE:

台風6号直後の和歌山県白浜町で日の入り直前に鳴いた複数のクマゼミ(カメムシ目=半翅目, セミ科)

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. 台風6号直後の和歌山県白浜町で日の入り直前に鳴いた複数のクマゼミ(カメムシ目=半翅目, セミ科). KINOKUNI 2011, 80: 32-32

ISSUE DATE:

2011-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180716>

RIGHT:

© 和歌山昆虫研究会

# 台風 6 号直後の和歌山県白浜町で日の入り直前に鳴いた 複数のクマゼミ

(カメムシ目 = 半翅目, セミ科)

Droning of *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) at just before sunset time soon after attack of Typhoon No. 6 in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南日本に広く分布するクマゼミ *Cryptotympana facialis* (カメムシ目 = 半翅目, セミ科) は夏季に出現し、午前中が主な鳴く時間帯である。今回、和歌山県西牟婁郡白浜町で、台風 6 号の通過直後に (直撃は免れた)、複数個体が同日の日の入り直前に鳴いた記録などを報告する。

台風 6 号が紀伊半島潮岬沖を東方へ去った 2011 年 7 月 20 日、曇り空だが少し晴れ間の見え始めた瀬戸漁港で、クマゼミは 15 時半頃 1 個体が鳴いた。普段は鳴かない時間帯であるが、その後、同日の 18 時 50 分に、日の入りより少し前の時間になるが、京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所構内 (西端部) で 1 個体が鳴いた。15 時 45 分からこの時間までクマゼミは 1 個体も鳴くことはなかった。この日と前日は台風 6 号接近のため、2011 年 7 月 20 日 15 時 45 分に実験所に到着するまで自宅で待機したが (自宅のある上富田町では午後には警報は解除された)、その間クマゼミが鳴いたかどうかは不明である。

この後、白良浜の北側に所在する坂を少し登った小高い所にある「カラオケ喫茶きばらし (白浜町 1332-5)」付近の樹の上で、薄暗くなったにもかかわらず、1 個体が同日の 2011 年 7 月 20 日 18 時 50 分から 19 時 03 分の間、日の入り直前に連続して 5 回鳴いた。この時間帯中、アブラゼミやニイニイゼミも付近で同時に鳴いていた。

翌日、普段のように、瀬戸臨海実験所構内で、夜が白んできた 5 時 22 分から 5 時 37 分の明け方に、構内のあちこちで三々五々鳴き始め、6 時頃には複数が同時に鳴いた。蝉しぐれは 6 時半頃から始まった。なお、瀬戸臨海実験所構内でのクマゼミの初鳴きは (久保田・田名瀬, 2002 参照), 2011 年 7 月 10 日 6 時 45 分であった。

## 引用文献

久保田 信・田名瀬英朋. 2002. 和歌山県白浜町の海岸付近におけるクマゼミの初鳴き. 南紀生物, 44(2): 114.

(くぼた しん 〒 649-2211 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)